

第39回富山県バレーボール小学生大会におけるグリーンカード発出場面

令和4年12月3・4日

県西部体育センター

今大会のグリーンカード

チーム名	背番号	摘要内容
侍	2番	コートオフィシャル(ラインジャッジ)がビシッと的確だった。
福光東部(男子)	2番	コートオフィシャル(ラインジャッジ)が的確だった。
呉羽	1番	最後までボールを諦めずに追いかけた。
	10番	モップがけを素早くがんばった。
窪	11番	モップがけを素早くがんばった。
新庄北(女子)	1番	下級生に声をかけながら、チームをまとめた。監督の話をいつも真剣に聞いていた。
	5番	ナイスサーブ
城山		コートオフィシャル(ラインジャッジ)が的確だった。
南条	1番	元気があって、とてもよい。
福光東部(女子)	1番	さわやかな挨拶
石動東部	1番	礼儀正しく、言葉遣いがとても丁寧。試合中、仲間によく声をかけていた。
	7番	ベンチの荷物を揃えたり、整理したり、重い荷物を運んだりして、選手のために貢献した。ベンチでは一番に声を出して応援していた。
大庄	1番	負けていても笑顔を心がけ、チームをまとめていた。最上級生として、下級生に声をかけ続けた。
蜷川	11番	モップがけを素早くがんばった。
よつば	1番	ガッツあるプレー
上庄	1番	チームの仲間が失敗したとき、必ず寄り添い笑顔で励ましていた。
	2番	仲間や自分が得点を決めたとき、全身で喜びを表現していた。
作道	1番	いつも笑顔を心がけ、負けていても仲間に声をかけ続け、最後まで諦めなかった。
横田・戸出西部	1番	キャプテンとして礼儀正しく、3セットの最後の最後まで諦めずにプレーを続けた。
	2番	コートの仲間に絶えず声をかけ、励ましながらプレーをしていた。
東魚津	1番	「遅くまでありがとうございました。負けましたが、一生懸命がんばりました。今日は、キャプテン代理としてチームをまとめました。」と言って礼儀正しく挨拶をし、最後まで後片付けを手伝った。
富山東部	8番	相手コートまでボールを拾いに行った。

◇今大会を通して◇

コロナ禍の中、バレーボールができること、大会が開催されることに感謝し、勝っても負けても笑顔いっぱい選手たちの姿が印象的でした。